

次世代文明センター
特別シンポジウムなぜ
ヒトは**身体**で語るのか

ジェスチャー、身振り、しぐさ、表情、身体表現、手話といった、音声言語とは異なる伝達体系をテーマとするシンポジウムを開催します。

私たちは、ことばのやりとりを「音声」や「文字」だけで行っているわけではありません。話すときには自然に手が動き、顔の表情や身体の向きも「意味」を伝えます。一方、手話は単なる身振りではなく、音声言語とは異なる視覚・身体モダリティを用いた自然言語です。

本シンポジウムでは、ジェスチャー研究の第一人者である喜多壮太郎教授(英国ウォーリック大学)と、日本手話の音韻・形態構造の研究を牽引する原大介教授(豊田工業大学)が、身体・思考・言語の関係について考えます。なぜヒトは話すときに手を動かすのか。ジェスチャーはどのように思考を支えるのか。身体はいかにしてコミュニケーション手段となりうるのか。手話はどのように言語として構造化されるのか。身体表現はどのような条件のもとで思考を補助するジェスチャーから文法を持つ言語へと発展するのか。音声言語とは異なる空間言語の特徴とは何か。これらの問いに導かれながら、身体表現が意味を生み、言語へと発展する過程を、心理言語学と手話言語学の両面から探ります。

パネルディスカッションでは、喜多教授と原教授に加えて、豊田工業大学から数名の研究者がパネリストとして登壇し、それぞれの専門的知見を基に縦横無尽に議論します。

基調講演

ヒトはなぜジェスチャーをするのか：
イメージ的思考の重要性について

講師

英国ウォーリック大学 心理学科

喜多 壮太郎 教授

Sotaro Kita



講演

日本手話に文法はあるのか：
手話はジェスチャーの寄せ集めではない！？

講師

豊田工業大学 外国語分野

原 大介 教授

Daisuke Hara



日時

2026年 9月19日(土)

13:00 ▶ 16:00(予定) 12:30 受付開始

会場

豊田工業大学
豊田喜一郎記念ホール

オンライン同時配信

参加費無料

プログラム

13:00 開会／ごあいさつ
13:15 ①基調講演
14:00 ②講演
14:40 休憩
15:00 パネルディスカッション
16:00 閉会／ごあいさつ

参加
方法

会場参加 定員250名 先着順
オンライン参加

参加登録締切

9月9日(水)



要登録

◀ 詳細はこちら



学校法人 トヨタ学園
豊田工業大学
進むなら、足跡のない方へ。

豊田工業大学 次世代文明センター

〒468-8511 名古屋市天白区久方2-12-1
(地下鉄桜通線 相生山駅 1番出口から徒歩約10分 駐車場、駐輪場あり)
TEL 052-809-1764 / Email s-koho@toyota-ti.ac.jp



「次世代文明センター」は先端的な知の形成を目指す、豊田工業大学の教育・研究センターです。